

別 紙

平成28年度事業報告

I 会議の開催

次の会議を開催し、協会業務の円滑な運営を図った。

| 会 議 名 | 開 催 年 月 日 | 場 所 |
|-------------------------|--|------------------------------|
| 定時総会 | 平成28年6月17日 | KKRホテル東京 |
| 理 事 会 第1回 第2回 第3回 | 平成28年5月30日 平成28年6月17日 平成29年3月28日 | 当協会会議室 KKRホテル東京 当協会会議室 |

II 会員数

平成28年度末における会員数は、次のとおりである。

[会員数の内訳]

| 会 員 区 分 | 会 員 数 |
|---------|-------|
| 出資会員 | 60 |
| 会費会員 | 42 |
| 賛助会員 | 14 |
| 計 | 116 |

[会員異動状況]

| | |
|------------|-----|
| 平成27年度末会員数 | 119 |
| 平成28年度脱会 | 3 |
| 平成28年度加入 | 0 |
| 平成28年度末会員数 | 116 |

(注)平成28年度脱会会員名

①(公財)岩手県農業公社 ②東日本山地畜産推進協議会 ③(一財)畜産環境整備機構

Ⅲ 人事

1 役員

(1)平成 28 年 6 月 17 日の定時総会において、つぎのとおり役員を選任が行われた。

| 区分 | 氏名 | 所属 |
|---------|-------|--------------------------|
| 会長(常) | 野口 政志 | 雪印種苗株式会社代表取締役社長 |
| 副会長(非) | 赤石 真人 | |
| 専務理事(常) | 金谷 勉 | タキイ種苗株式会社営業部緑化飼料課長 |
| 常務理事(常) | 岡野 和夫 | |
| 理事(非) | 秋山 貴紀 | 一般社団法人全国肉用牛振興基金協会専務理事 |
| 理事(非) | 井田 光之 | カネコ種苗株式会社取締役緑飼部長 |
| 理事(非) | 井上 哲 | 全国酪農業協同組合連合会常務理事 |
| 理事(非) | 小谷 英穂 | 公益社団法人岩手県農業公社理事長 |
| 理事(非) | 工藤 孝男 | 公益社団法人中央畜産会常務理事 |
| 理事(非) | 近藤 康二 | 全国農業協同組合連合会畜産生産部単味・粗飼料課長 |
| 理事(非) | 佐藤 友二 | 一般社団法人青森県畜産協会専務理事 |
| 理事(非) | 菅 慶一郎 | 熊本県農林水産部畜産課長 |
| 理事(非) | 中村 秀朗 | 公益財団法人沖縄県畜産振興公社専務理事 |
| 理事(非) | 長崎 祐二 | 一般社団法人家畜改良事業団理事長 |
| 理事(非) | 信國 卓史 | 一般社団法人岐阜県畜産協会会長 |
| 理事(非) | 早川 捷也 | 一般社団法人岡山県畜産協会代表理事会長 |
| 理事(非) | 樋口 義男 | ホクレン農業協同組合連合会酪農畜産事業本部長 |
| 理事(非) | 福士正二郎 | 一般社団法人全国酪農協会会長 |
| 理事(非) | 馬瀬口弘志 | 公益社団法人栃木県畜産協会専務理事 |
| 監事(非) | 大根田 智 | 千葉県農林水産部畜産課長 |
| 監事(非) | 岡田 望 | 一般社団法人中央酪農会議専務理事 |
| 監事(非) | 迫田 潔 | |

(2)つぎの役員が辞任があった。

| | |
|-------------|-----------------------------------|
| 人事異動に伴う辞任 | |
| 8月31日付 (理事) | 公益社団法人岩手県農業公社理事長 工藤 孝男 |
| 3月31日付 (理事) | 全国農業協同組合連合会畜産生産部単味・粗飼料課長 佐藤 友二 |

2 職員

平成 28 年度末における職員数は、次のとおりである。

| 所属 | 職員数 | 備考 |
|---------|-----|---------------|
| 本所 | 13 | 役員2名を含む |
| 北海道支所 | 7 | |
| 飼料作物研究所 | 5 | 契約及び非常勤研究員を含む |
| 九州試験地 | 1 | |
| 計 | 26名 | |

IV 活動の概要

平成 28 年度における協会業務の実施概要は、次のとおりである。

1 公益事業

(1) 飼料増産の普及啓発

①飼料増産行動ブロック会議の開催（飼料増産対策強化推進事業）

ブロック段階における飼料増産運動を推進するため、地方農政局との共催により各県における飼料増産への取組みとその点検・検証に係る検討会を 7 回開催した(参加者延べ 246 名)。

②全国自給飼料生産コンクールの実施（飼料増産対策強化推進事業）

(全国自給飼料生産コンクール実施事業)

自給飼料の生産振興を図るため、自給飼料生産の優良事例を広く紹介することとし、自給飼料生産に優れた取組みを行っている各地の事例を調査するとともに、第 3 回全国自給飼料生産コンクールを実施し、北海道で酪農を営む村越敏春・晴子夫妻が農林水産大臣賞を受賞した。

③情報誌「グラス&シード」の発行（飼料増産対策強化推進事業）

飼料増産に関する情報誌として、「畜産クラスターと自給飼料対策」の特集を組み 3,300 部を発行、配布するとともに、当協会のホームページに掲載した。

④新聞広告による情報提供（飼料増産対策強化推進事業）

飼料増産に関する普及啓発のため、平成 29 年 3 月 8 日に、自給飼料増産特集の一環として飼料用稲専用品種の特集記事を新聞に掲載した。

(2) 飼料用稲等の生産振興

①飼料用稲の普及に向けたシンポジウム等の開催（飼料用稲生産安定化促進事業）

飼料用米の普及を図るため、平成 28 年 10 月に宮城県において 112 名の参加を得て飼料用米の生産利用に関するシンポジウムを開催するとともに、9 県（埼玉県、新潟県、石川県、三重県、岡山県、山口県、大分県、熊本県、鹿児島県）において 880 名の参加を得て、飼料用米の低コスト生産に関する研修会を開催した。

②飼料用稲専用品種の利用推進（飼料増産対策強化推進事業）

飼料用稲専用品種の利用を進めるため、飼料用稲の品種特性や栽培利用上の留意点をまとめたパンフレットを 42,000 部作成し、行政機関、普及センター、農協、コントラクター等に配布するとともに、ホームページに掲載した。

③飼料用稲栽培利用技術の現地指導（飼料増産対策強化推進事業）

飼料用稲の生産利用の現地指導を行うため、北海道、静岡県、和歌山県、佐賀県、大分県、鹿児島県へ飼料稲アドバイザー等を派遣し、401名を対象に現地指導を行った。

④飼料用米生産技術等の実証調査（飼料用稲生産安定化促進事業）

飼料用米の低コスト生産等を進めるため、8県（宮城県、山形県、栃木県、茨城県、千葉県、岡山県、熊本県、鹿児島県）において、多肥栽培（8ヶ所）、立毛乾燥（5ヶ所）、漏生籾対策（1ヶ所）に関する実証調査を行うとともに展示を行った。

⑤飼料用稲種子の増殖技術の改善（飼料用稲生産安定化促進事業）

飼料用稲種子の増殖で課題となっている、稲こうじ病の防除対策や休眠の深い品種についての休眠打破対策、採種量の少ない品種「たちあやか」の採種技術についての調査を行うとともに展示を行った。

⑥飼料用稲麦二毛作体系等の実証調査（稲麦二毛作普及促進・農薬安全性調査事業）

実規模レベルにおける飼料用稲麦二毛作体系の実証調査を5県（群馬県、三重県、岡山県、福岡県、宮崎県）において実施するとともに、飼料用麦雑草防除のための適用農薬の調査を4県（群馬県、三重県、福岡県、鹿児島県）で実施した。

⑦WCS用稲等の農薬残留調査（稲麦二毛作普及促進・農薬安全性調査事業）

飼料用稲 WCS の収穫時期の早期化に対応した農薬使用に係る安全性を調査するため、3除草剤及び2殺虫剤の作物残留試験を実施するとともに、飼料用麦栽培における農薬利用に係る資料を得るため、5除草剤の作物残留性調査を実施した。

⑧飼料稲給与畜産物の高付加価値化推進（飼料稲給与畜産物認証基準作成事業）

飼料用米を給与して鶏肉・鶏卵を生産している農場等に関する現地調査等（10ヶ所）を行うとともに、飼料用米給与鶏肉・鶏卵に関するアンケート調査を実施し、飼料用米給与鶏肉・鶏卵認証基準案の検討を行った。

(3) 優良品種の開発・導入及び草地の植生改善等による単収や品質の向上

①飼料作物の品種比較試験の実施（品種検定事業）

（飼料増産対策強化推進事業）

飼料作物の優良品種の普及を促進し生産性向上を図るため、北海道においては、品種比較試験を実施（青刈りとうもろこし29品種系統、牧草4草種10品種）し、チモシー2品種（Bor0120、SBT0904）、フェストロリウム1品種（北海1号）、アルファルファ1品種（SBA0901）が新たに北海道優良品種に認定された。

また、都府県では、宮城県等 18 県注及び（独）家畜改良センターの 2 牧場において品種比較試験を実施（飼料用トウモロコシ 43 品種、ソルガム・スーダングラス 19 品種、イタリアンライグラス 31 品種、その他牧草 6 草種 20 品種）し、奨励品種の認定に関するデータを取得するとともに各県へその情報を提供した。

注：宮城県、茨城県、栃木県、埼玉県、山梨県、福井県、和歌山県、島根県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、高知県、福岡県、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県

②優良品種の栽培展示圃設置及び利用研修会の開催（飼料増産対策強化推進事業）

飼料作物の優良品種の普及を促進し生産性の向上を図るため、鹿児島県等 27 都道県注 1 150 ヶ所において優良品種の展示圃場を設置するとともに、飼料作物の栽培利用技術等に関する指導者育成研修や指導者の派遣による現地指導・検討会を北海道等 9 道県注 2 において 12 回開催した（参加者 724 名）。

注 1：北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、長野県、静岡県、福井県、岐阜県、愛知県、兵庫県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、愛媛県、福岡県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

注 2：北海道、群馬県、福井県、岐阜県、愛知県、岡山県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

③スマートフィーディングのモデル実証（自給飼料生産技術向上推進事業）

自給飼料の活用により、購入飼料の給与量低減に取り組む実証展示を、全国 5 道県 7 ヶ所（北海道 3、秋田県 1、茨城県 1、長野県 1、宮崎県 1）の生産農家において実施するとともに、茨城県において全国現地検討会を開催した。

④難防除雑草駆除による草地生産性の向上（草地難防除雑草駆除対策事業）

（草地難防除雑草駆除等緊急対策事業）

平成 27 年度補正予算で対応された草地難防除雑草駆除等緊急対策事業（草地難防除雑草駆除対策）について、全国 3 道県 62 ヶ所（北海道 60、青森県 1、大分県 1）において難防除雑草駆除を実施するとともに、本事業に係る研修会を北海道において開催した。

また、平成 28 年度補正予算で措置された草地難防除雑草駆除対策事業については、全国 2 道県 73 ヶ所（北海道 72、青森 1）において難防除雑草駆除に着手した。

⑤厳しい環境に耐える高栄養牧草の育成

（高栄養牧草環境耐性品種開発・利用体系確立事業）

強度いもち病抵抗性のイタリアンライグラス「はやまき 18」及び越冬生に優れたペレニアルライグラス「道東 1 号」について、普及対象地域における現地実証評価を実施するとともに、両草種の新系統の育成に取り組んだ。

⑥飼料作物の育成等に有用な耐病性遺伝子マーカーの開発

(とうもろこしすす紋病抵抗性遺伝子確定事業)

飼料用とうもろこしについて、国内における品種育成と海外から導入する品種・系統の選抜を効率的に進めるため、すす紋病抵抗性主働遺伝子 Ht1 のマーカーを開発し、当該遺伝子の有無の判別に有効であることを確認した。

⑦飼料作物種子実態調査等の実施 (飼料増産対策強化推進事業)

飼料作物種子の安定的な供給を図るため、フランスにおいてとうもろこし3品種(6系統)の採種性試験を行うとともにアメリカのバヒアグラス採種圃場の現地調査を実施した。また、国内における飼料作物種子の流通状況を調査した。

⑧飼料用種子の安定供給 (飼料作物種子保管事業)

飼料作物種子の安定的な供給を図るため、飼料用稲種子を含む飼料作物の種子を保管し、需要に応じて供給した。

(4) 放牧の推進

①放牧畜産基準認証制度の普及・促進 (放牧活用高付加価値畜産物生産促進事業)

放牧畜産基準認証制度の認証要領に基づき、酪農経営8牧場(北海道:北野牧場、安原牧場、小林牧場、丸藤牧場、山下牧場、二瓶牧場、長屋牧場、茨城県:(農)新利根協同農学塾農場)を放牧畜産実践牧場として新たに認証した。

また、平成22年度及び25年度に認証を受け、平成28年度中に認証の有効期間が切れることとなる放牧畜産実践牧場24件のうち23件、放牧畜産物生産基準認証9件全てについて継続して認証した。

更に、10月に川崎で開催された「畜産フードフェア川崎2016」及び12月に東京で開催された「ファーマーズ&キッズフェスタ2016」において放牧畜産についての広報活動を行った。

これまでの認証状況

| 認証の種類 | 認証件数 | 既申請件数 |
|------------------|------|-------|
| 放牧畜産基準(放牧畜産実践牧場) | 55 | 64 |
| 放牧酪農牛乳生産基準 | 3 | 4 |
| 放牧酪農乳製品生産基準 | 3 | 4 |
| 放牧牛乳生産基準 | 0 | 1 |
| 放牧乳製品生産基準 | 2 | 3 |
| 放牧子牛生産基準 | 4 | 6 |
| 放牧肥育牛生産基準 | 2 | 5 |
| 放牧牛肉生産基準 | 2 | 3 |
| 計 | 71 | 90 |

②放牧畜産実践牧場への支援（放牧活用高付加価値畜産物生産促進事業）

放牧畜産の普及を図るため、放牧畜産実践展示牧場の8牧場に対して普及用資材作成等の支援を行った。

③肉用牛放牧指導者養成研修会の開催（放牧活用高付加価値畜産物生産促進事業）

肉用牛放牧に係る専門指導者を養成するための研修を、長崎県農林技術開発センター畜産研究部門において開催した（参加者74名）。

④乳用牛集約放牧技術研修会等の開催（放牧活用高付加価値畜産物生産促進事業）

搾乳牛を対象とした集約放牧に係る専門指導者を養成するための研修会及び「搾乳牛放牧シンポジウム」を、北海道別海町において開催（参加者98名）した。

⑤放牧技術の現地指導（放牧活用高付加価値畜産物生産促進事業）

地域ごとに異なる様々な条件に応じた放牧を進めるため、北海道、青森県、東京都、静岡県、新潟県、富山県、岐阜県、兵庫県、大分県の9都道県（延べ17回）に放牧アドバイザー等を派遣し、492名を対象に現地指導を行った。

⑥放牧畜産物を活用した6次産業化の促進

（放牧活用高付加価値畜産物生産促進事業）

放牧を活用した畜産物の6次産業化を図るため、岩手県葛巻町及び北海道八雲町で現地調査を行うとともに、関係者による検討会を開催した。

⑦日本型放牧モデルの普及推進（日本型放牧モデル普及推進事業）

日本型放牧（肉用牛の周年親子放牧及び乳用牛の集約放牧）の全国的な普及を図るための推進委員会を開催した。

（5）公共牧場の機能強化等

①公共牧場の利用促進（自給飼料生産技術向上推進事業）

昨年度に策定した公共牧場ハブ機能強化プランの達成に向け、岩手県及び岐阜県の2ヶ所で放牧地等の改修、家畜輸送について助成した。

②荒廃草地等の活用（草地難防除雑草駆除等緊急対策事業）

利用率の低下した草地の有効活用を図るため、岩手県において粗飼料生産組合が八幡平市から借り受けて行った荒廃草地の改修について助成した。

③公共牧場長等の研修会の開催（自給飼料生産技術向上推進事業）

全国の公共牧場の職員等を対象に、草地利用・管理技術等に関する技術実地研修を東濃牧場（岐阜県恵那市、参加者 30 名）、大仙放牧場（鳥取県伯耆町、参加者 18 名、座学研修は米子市で実施）において開催するとともに、公共牧場の管理者等を対象に公共牧場の運営改善等に関する技術基本研修を東京都において開催（参加者 42 名）した。

④公共牧場実態調査の実施（飼料増産対策強化推進事業）

全国の公共牧場 950 ヶ所を対象に経営実態調査を行い、その集計・分析を行い、その結果を関係者にフィードバックした。

（6）コントラクター等による国産粗飼料の生産・流通円滑化の取り組み

①コントラクター等従事者の技術向上への支援（自給飼料生産技術向上推進事業）

コントラクター等のオペレーター職員の技術向上のため、（独）家畜改良センター（福島県）において基礎研修を行うとともに、北海道、岩手県、千葉県、岡山県、宮崎県において、農作業安全講習、機械整備技術研修等を実施した（参加者 380 名）。

②全国コントラクター等情報連絡会議の開催（飼料増産対策強化推進事業）

コントラクター等の飼料生産・調製技術や組織運営等に関する組織相互の情報交換・共有化を図るため、平成 29 年 3 月に千葉県成田市及び香取市において全国コントラクター等情報連絡会議を開催した（参加者 177 名）。

（7）消費者に対する飼料基盤に立脚した畜産の理解醸成

①遺伝子組換え種子の混入検査（飼料増産対策強化推進事業）

飼料用とうもろこし種子の品質と安全性を確保するため、平成 29 年播種用種子を主に、119 ロットについて、6 遺伝子の組換え体混入検査を実施した。

②飼料稲給与畜産物等の理解醸成（放牧活用高付加価値畜産物生産促進事業）

（飼料稲給与畜産物認証基準作成事業）

畜産フードフェア川崎 2016 及びファーマーズ&キッズフェスタ 2016 等において、飼料米給与鶏卵の展示、アンケート調査及び放牧チーズの試食、アンケート調査等を行い、消費者等への理解醸成を図った。

2 収益事業

(1) 飼料作物種子の増殖

①飼料作物優良品種の海外契約採種（海外契約採種安定化対策事業）

イタリアンライグラス、チモシー、オーチャードグラス等 11 草種 18 品種、合計 397t をアメリカ、カナダ、フランス、デンマーク等において増殖するとともに、14 草種 47 品種、合計 440t を販売した。

平成 28 年度海外契約採種安定化対策事業実績

(数量：t)

| 種 類 | 平成28年度 供給等 | | | | | 平成28年度 売渡 | | | 次期繰越 |
|------------|------------|----|----|-----|------------|-----------|----|-----|------|
| | 繰越 | 生産 | | | 供給可能量 計 | 草種 | 品種 | 数量 | |
| | | 草種 | 品種 | 数量 | | | | | |
| イタリアンライグラス | 176 | 1 | 2 | 173 | 349 | 1 | 8 | 180 | 169 |
| 多年生牧草 | 447 | 7 | 10 | 188 | 578 | 10 | 26 | 212 | 366 |
| 青刈飼料作物 | 97 | 3 | 6 | 36 | 117 | 3 | 13 | 48 | 69 |
| 計 | 720 | 11 | 18 | 397 | 1,044 | 14 | 47 | 440 | 604 |

注1) 主要草種・品種の内訳は、別紙1の通り。

注2) 供給可能量の値は、処分による数量減を反映したものである。

②協会育成品種の増殖（海外契約採種安定化対策事業）

当協会が育成したイタリアンライグラス「はやまき 18」及びペレニアルライグラス「道東 1 号」について海外増殖を行うとともに、イタリアンライグラス「J F I R 20（うし想い）」とシバ「たねぞう」の国内販売を行った。

③飼料用稲種子の増殖配布（飼料用稲種子増殖配布事業）

平成 28 年播種用として 15 品種 407.3 t（原種を含む）の種子を配布し、62.1 t を備蓄した。また、平成 29 年播種用として 14 品種 433.6 t（栽培用 429.4t、原種用 4 品種 4.2t）の種子を増殖し、備蓄種子を含め 15 品種 378 t を配布した。

平成 28 年飼料用稲種子増殖・配布実績

| 品 種 名 | 29年播種用種子増殖・配布 | | | | 28年播種用 配布量 (kg) |
|---------|---------------|-----------------|-----------------|-------------|--------------------|
| | 面積 (ha) | 増 殖 量 (kg) | 配布量 5/19現在 (kg) | | |
| | | | 28年産種子 | 備蓄種子 | |
| べこごのみ | 3.5 | 24,500 | 12,913 | | 21,269 |
| べこあおば | 3.0 | 21,000 | 18,223 | | 18,750 |
| 夢あおば | 14.5 | 95,480 | 94,785 | 2,100 (224) | 108,523 (296) |
| ホシアオバ | 7.6 | 38,620 | 38,618 | 800 (8) | 38,189 |
| クサホナミ | 1.7 | 9,500 (1,288) | 9,488 | | 9,172 |
| クサノホシ | | | | 10 | 2,402 |
| たちすがた | | | | 240 | 2,990 |
| モミロマン | 4.24 | 23,760 | 23,716 | (4) | 28,985 (32) |
| ミズホチカラ | 5.7 | 36,240 | 35,901 | | 32,387 |
| タチアオバ | 6.2 | 30,420 (1,247) | 30,081 | 3,780 (80) | 38,448 (72) |
| モグモグあおば | 2.3 | 13,800 | 13,761 | | 21,803 |
| リーフスター | 7.3 | 27,720 | 15,900 | | 15,656 |
| たちはやて | 0.1 | 650 | | | |
| ミナミュタカ | 2.5 | 9,646 | 9,601 | | 8,982 |
| たちすずか | 19.2 | 80,860 (729) | 60,854 (20) | | 58,315 (72) |
| たちあやか | 10.8 | 17,160 (936) | 7,113 | | 951 |
| 計 | 88.64 | 429,356 (4,200) | 370,954 (20) | 6,930 (316) | 406,822 (472) |
| | | | 377,884 (336) | | |

注1) 表中 () 内は原種分で外数である。

(2) 飼料作物種子の検査等

①飼料作物の種子検査・証明 (飼料作物種子証明事業)

20 草種 2,861.2 t の種子を検査し、証明書を発行した。

平成 28 年度流通種子検査実績

| 項 目 | 28 年 度 | 27 年 度 |
|--------------|--------------------------|--------------------------|
| 流通種子検査 (Kg) | 2,861,163 (1,107,211) | 2,962,296 (1,488,854) |
| 根粒菌接種確認 (Kg) | 87,017 | 74,762 |
| ほ場検査 (a) | 0 | 0 |
| 生産種子検査 (Kg) | 0 | 0 |

注1) 流通種子検査の () 内は海外増殖種子輸入分で内数である。

注2) 流通種子検査数量の草種ごとの内訳は、別紙2の通り。

3 その他

(1) 全国コントラクター等経営高度化推進協議会からの業務受託

全国コントラクター等経営高度化推進協議会から、協議会運営の業務を受託し、農林水産省との意見交換会を開催するとともに、ホームページの管理運営、会員への情報提供活動等を行った。

(2) 全国公共牧場協議会からの業務受託

全国公共牧場協議会から協議会運営の業務を受託し、会員への情報提供活動等を行った。

(3) ふれあい牧場協議会からの業務受託

ふれあい牧場協議会から、協議会運営の業務を受託し、ふれあいグッズ・児童向け冊子の提供を行うとともに協議会ホームページの管理運営等の業務を行った。

(4) 出版事業

既刊行の出版物の販売に努めた。

V 付属明細書

特記する事項はありません。

(別紙 1)

平成28年度海外契約採種安定化対策事業実績の主要草種・品種の内訳

(数量:t)

| 草種、品種名 | 平成27年度からの繰越量 | 平成28年度輸入量 | 供給合計量 (繰越量+輸入量) | 平成28年度売渡数量 | 翌年度への繰越量 |
|------------|--------------|-----------|--------------------|------------|----------|
| イタリアンライグラス | | | | | |
| ワセユタカ | 0.0 | 158.9 | 158.9 | 109.6 | 49.3 |
| ニオウダチ | 5.4 | 0.0 | 5.4 | 5.4 | 0.0 |
| ナガハヒカリ | 32.7 | 0.0 | 32.7 | 29.7 | 3.0 |
| その他 | 137.6 | 14.1 | 151.7 | 34.8 | 116.9 |
| オーチャードグラス | | | | | |
| アキミドリII | 0.0 | 16.6 | 16.6 | 5.3 | 11.4 |
| ハルジマン | 48.0 | 0.0 | 48.0 | 13.0 | 34.9 |
| トヨミドリ | 35.3 | 0.0 | 35.3 | 25.8 | 9.5 |
| まきばたろう | 38.1 | 0.0 | 38.1 | 6.0 | 32.1 |
| チモシー | | | | | |
| キリタップ | 50.1 | 42.6 | 92.7 | 34.0 | 58.8 |
| アッケシ | 19.1 | 0.0 | 19.1 | 19.1 | 0.0 |
| クンプウ | 7.9 | 0.0 | 7.9 | 7.9 | 0.0 |
| ペレニアルライグラス | | | | | |
| ポコロ | 0.0 | 45.5 | 45.5 | 13.8 | 31.7 |
| チニタ | 0.0 | 60.6 | 60.6 | 18.0 | 42.6 |
| トウフェスタ | | | | | |
| まきばさかえ | 12.9 | 0.0 | 12.9 | 9.5 | 3.4 |
| ハルサカエ | 19.4 | 0.0 | 19.4 | 7.5 | 11.9 |
| アカローハ | | | | | |
| ナツユウ | 1.9 | 10.3 | 12.2 | 2.5 | 9.8 |
| リョクユウ | 5.4 | 5.1 | 10.5 | 4.6 | 5.9 |
| その他の多年生牧草 | 214.2 | 7.5 | ※ 159.4 | 45.2 | 114.2 |
| 青刈りえん麦 | | | | | |
| はえいぶき | 9.7 | 12.0 | 21.7 | 16.2 | 5.5 |
| たちいぶき | 11.1 | 0.0 | 11.1 | 11.1 | 0.0 |
| 青刈りとうもろこし | | | | | |
| 北交65号 | 0.0 | 17.6 | 17.6 | 9.4 | 8.1 |
| その他の青刈り類 | 76.5 | 6.2 | ※ 66.2 | 10.8 | 55.4 |

注) ※は、品質劣化による処分等により、数量の減がある。

(別紙 2)

平成28年度流通種子検査実績の主要草種ごとの内訳

| 区分 | 草種 | 検査数量(kg) | |
|------|------------|-----------|--------|
| | | 流通種子 | 根粒菌接種 |
| イネ科 | チモシー | 771,002 | - |
| | オーチャードグラス | 339,338 | - |
| | イタリアンライグラス | 467,595 | - |
| | ペレニアルライグラス | 144,947 | - |
| | その他 | 108,428 | - |
| | 小計 | 1,831,310 | - |
| マメ科 | アカクローバ | 41,869 | 13,315 |
| | シロクローバ | 89,655 | 40,292 |
| | アルファルファ | 116,463 | 33,251 |
| | その他 | 2,876 | 159 |
| | 小計 | 250,862 | 87,017 |
| 青刈り類 | トウモロコシ | 77,306 | - |
| | ソルガム | 35,113 | - |
| | えん麦 | 68,667 | - |
| | 飼料用稲 | 597,905 | - |
| | 小計 | 778,991 | - |
| 合計 | | 2,861,163 | 87,017 |